

情報種別：G外秘

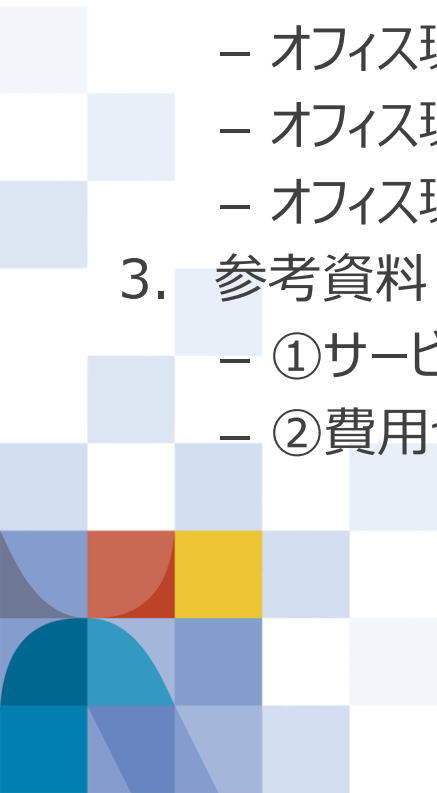
会社名：株式会社NTTデータ

情報所有者：技術革新統括本部 システム技術本部

NTT data
Trusted Global Innovator

グループ会社様向け接続事例資料

2022年4月1日
株式会社NTTデータ
技術革新統括本部 システム技術本部

- 
1. はじめに
 2. 代表的な接続事例
 - オフィス環境（IGS） - OpenStack
 - 開発環境（インターネットVPN） - OpenStack
 - オフショア（オフショアNW）- OpenStack
 - お客様環境（管理外NW） - OpenStack
 - オフィス環境 - OpenStack- AWSセルフサービス版
 - オフィス環境 - 開発BXO
 - オフィス環境 - OCIマネージド版
 3. 参考資料
 - ①サービス詳細
 - ②費用やリードタイム等

1. はじめに

本書では、前提条件(※)を満たしているグループ会社様が統合開発セキュリティ基盤サービス(UDS)を使用して統合開発クラウドの各サービスをご利用いただく際の代表的な接続事例をご紹介します。

※統合開発クラウドをご利用いただくための前提条件

- ・グループ共用セキュリティ基盤（IGS）をご利用中であること

（[グループ共用セキュリティ基盤サービス 各社システム管理者連絡先/利用サービス一覧](#) 参照）

- ・R&D包括契約を締結済であること

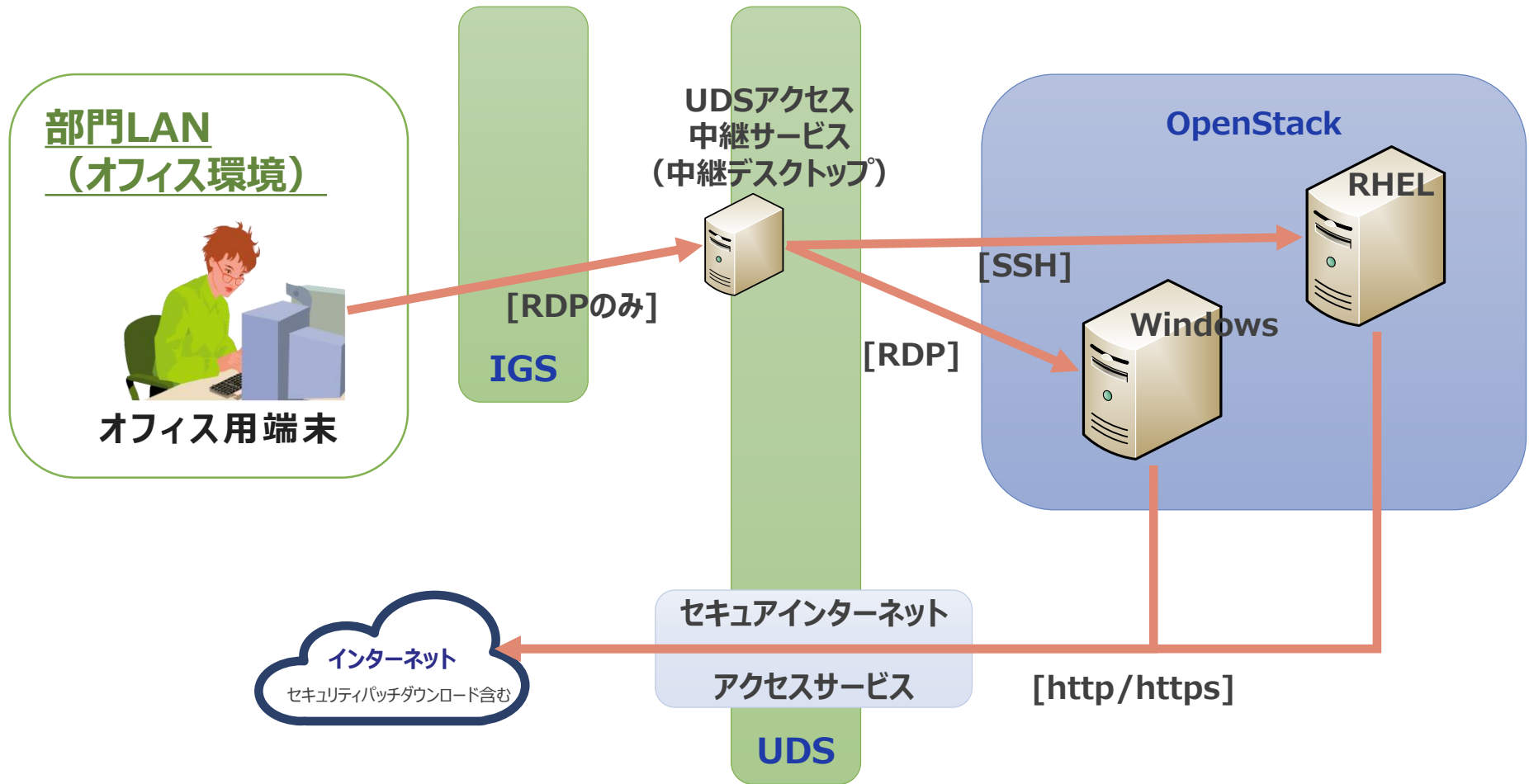
（[R&D成果包括契約会社一覧](#) 参照）

- ・X-NETに接続できること

代表的な接続事例

2. 代表的な接続事例①オフィス環境（IGS） - OpenStack

- オフィス環境からグループ共有セキュリティ基盤（IGS）経由でOpenStackにアクセスする事例です。



以降、全てのパターンにおいてIGSの契約はUDSご利用の際必須のため、中継デスクトップを作成すればアクセス可能となります。

2. 代表的な接続事例①オフィス環境（IGS） - OpenStack

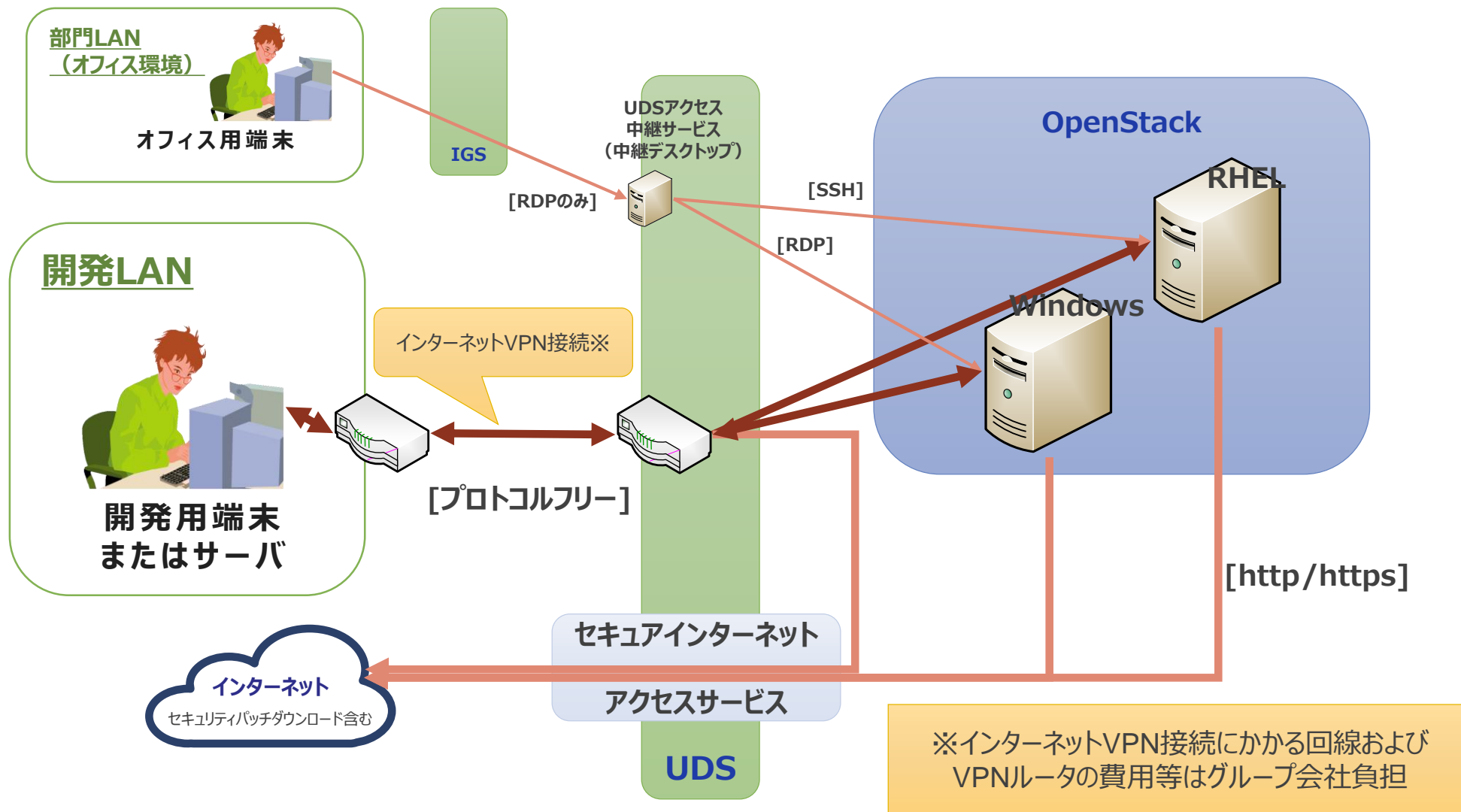
- 実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1	G-UIMでプロジェクトグループ作成	G会社 PJ担当者	ITM	1	開発ダッシュボード、OpenStackのHorizon操作のために作成。翌日反映のため、翌日より利用可能。
2	UDSプロジェクトグループ作成	G会社 PJ担当者	ITM	1	統合開発セキュリティ基盤を利用するプロジェクトを定義するために作成。UDSアクセス中継サービス、開発BXOなどの認証に必要。承認後1時間程度で利用可能。
3	UDSの利用申込書 原本送付	G会社 PJ担当者	ITM	-	UDSを使用するために必要な契約。利用開始前月15日までに原本必着。
4	統合開発クラウド新規利用申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	1	各種申請を行う開発ダッシュボードを作成。
5	UDS基本申請 ・プライベートクラウド(OpenStack、開発BXO等)	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
6	UDS：ネットワーク接続サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5営業日／ 最大20営業日	プロジェクト側拠点情報等を記載し、UDSに接続可能とする申請。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
7	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	UDSからhttp/httpsで特定のインターネットに接続可能とする申請。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
8	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
9	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2台目以降は同日中に払い出されることがあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。

以降、全てのパターンにおいて実施項番1~4は必要な申請となります。そのため次パターンより実施項番1~4は省略します。

2. 代表的な接続事例②開発環境（インターネットVPN） - OpenStack

- ・ オフィス環境及び開発環境からインターネットVPN経由でOpenStackにアクセスする事例です。



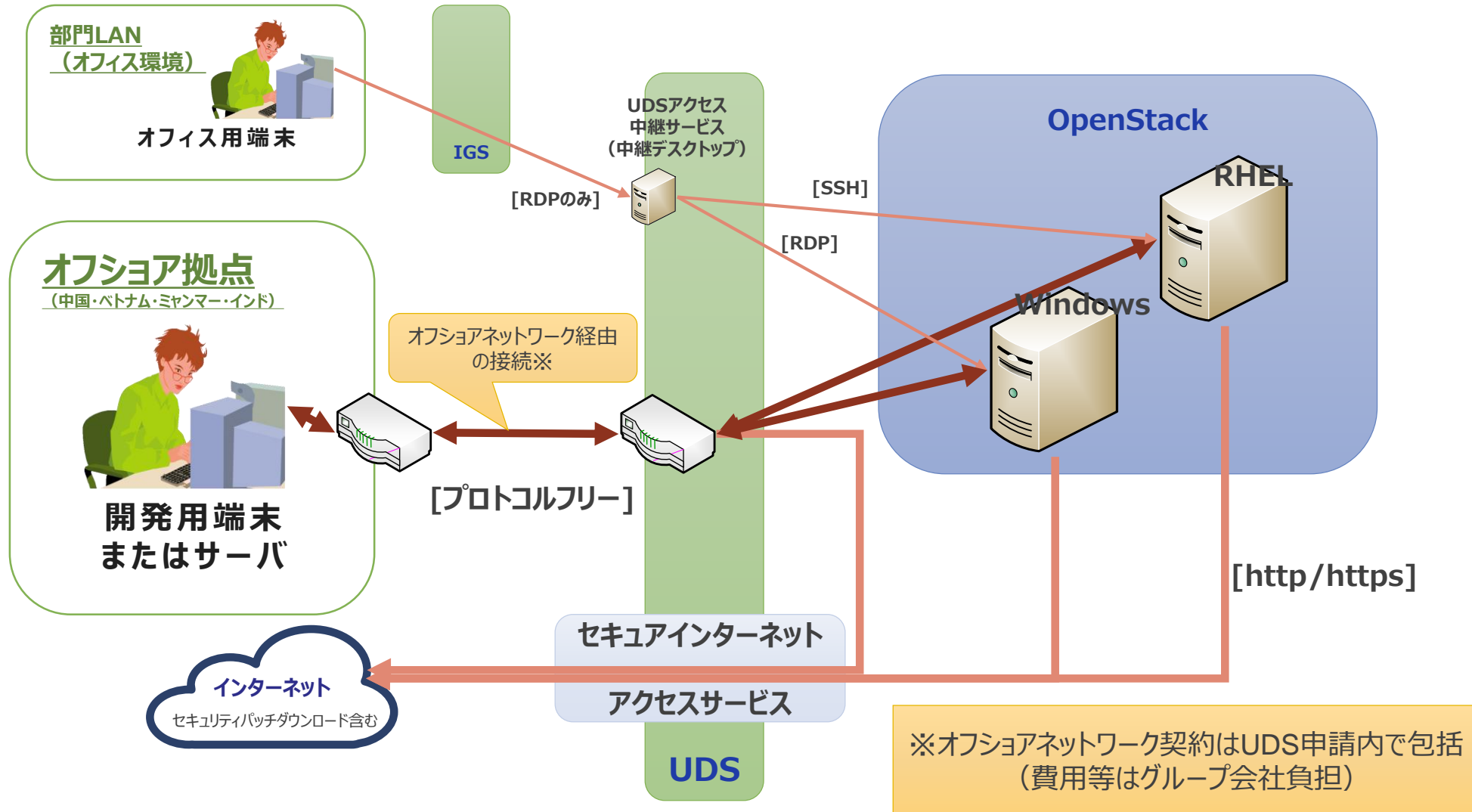
2. 代表的な接続事例②開発環境（インターネットVPN） - OpenStack

- 実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1-4	省略				p6スライド参照
5	インターネット回線	G会社 PJ担当者	G会社様		G会社様負担。 静的グローバルIPアドレスを提供しているインターネット回線を契約。
6	VPNルータ	G会社 PJ担当者	G会社様		G会社様負担。 Cisco社製の機器、推奨機器は「 VPNルータ参考情報（推奨機器、性能指標） 」を参照。
7	UDS基本申請 ・プライベートクラウド(OpenStack、開発BXO等) ・NTTデータ管理下の開発LAN	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。 開発LANと接続する情報を追加 。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
8	UDS：ネットワーク接続サービス申請 ・UDSに接続するプロジェクト側拠点情報	G会社 PJ担当者	ITM	5営業日／ 最大20営業日	プロジェクト側拠点情報等を記載し、UDSに接続可能とする申請。 UDSに接続するプロジェクト側拠点情報（ビル名、静的グローバルIPアドレス等）を追加 。国内拠点であれば5営業日程度。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
9	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	UDSからhttp/httpsで特定の社外ネットワークに接続可能とする申請。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
10	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
11	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2台目以降は同日中に払い出されることあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。 ※オフィス用端末から接続しない場合は申請不要

2. 代表的な接続事例③オフショア（オフショアNW）- OpenStack

- ・ オフィス環境及びオフショア拠点からオフショアネットワークでOpenStackにアクセスする事例です。



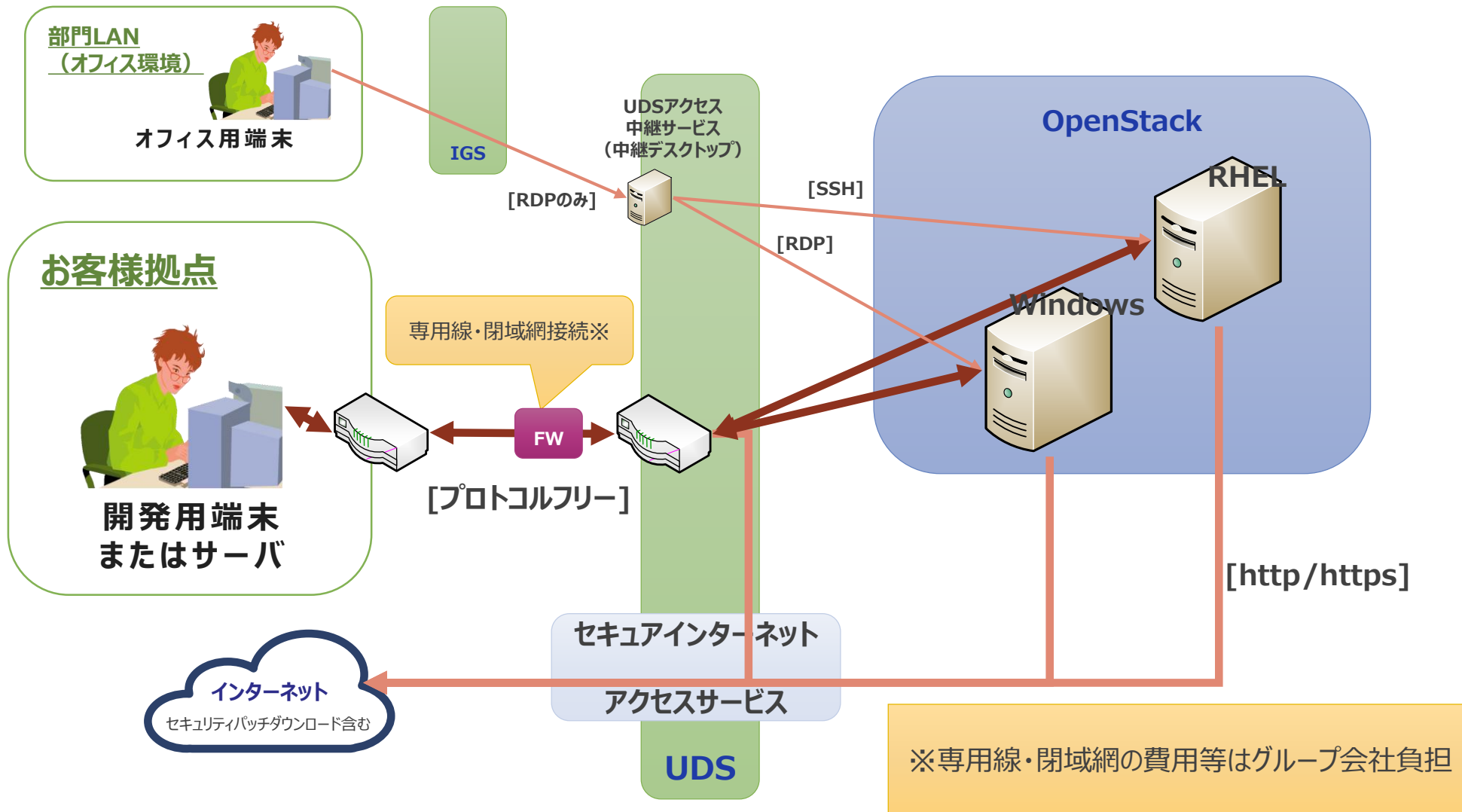
2. 代表的な接続事例③オフショア（オフショアNW)- OpenStack

- 実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1-4	省略				p6スライド参照
5	VPNルータ	ネットワークソリューション事業部	ネットワークソリューション事業部		オフショア会社側VPNルータはネットワークソリューション（NWS）事業部にて設定。
6	UDS基本申請 ・オフショア接続LAN	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。オフショア接続LANと接続する情報を追加。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
7	UDS：ネットワーク接続サービス申請 ・UDSに接続するプロジェクト側拠点情報 ・その他申請書添付欄（オフショアNW契約に必要な申請書の提出）	G会社 PJ担当者	ITM	20	プロジェクト側拠点情報等を記載し、UDSに接続可能とする申請。UDSに接続するプロジェクト側拠点情報（ビル名等）を追加。オフショアNW接続申請書を添付。20営業日程度必要。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
8	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	UDSからhttp/httpsで特定の社外ネットワークに接続可能とする申請。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
9	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
10	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2台目以降は同日中に払い出されることがあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。 ※オフィス用端末から接続しない場合は申請不要

2. 代表的な接続事例④お客様環境（管理外NW） - OpenStack

- ・ オフィス環境及びお客様環境からOpenStackにアクセスする事例です。



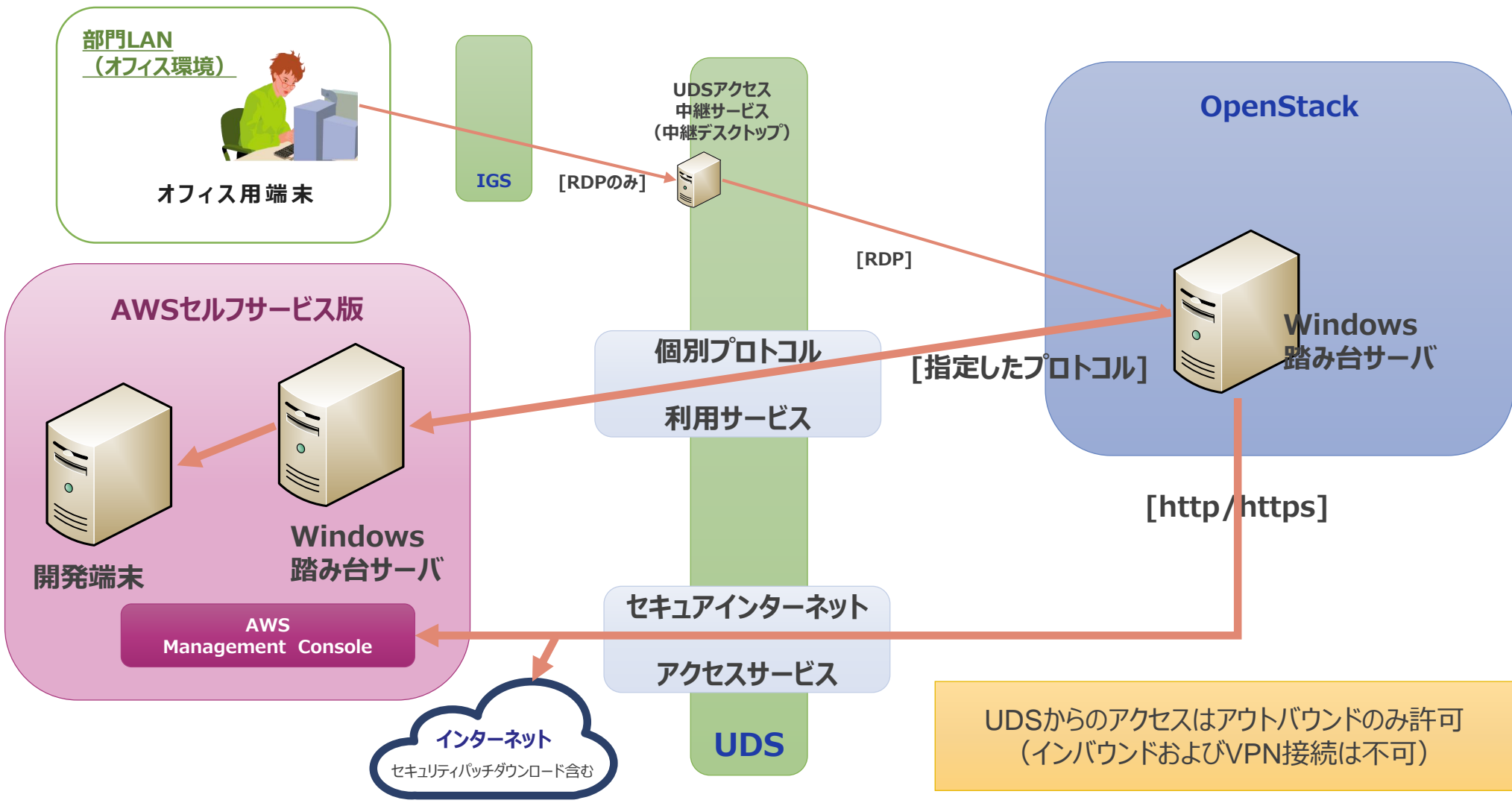
2. 代表的な接続事例④お客様環境（管理外NW） - OpenStack

- 実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1-4	省略				p6スライド参照
5	専用線・閉域網	G会社 PJ担当者	G会社様		G会社様負担。
6	プロジェクト機器	G会社 PJ担当者	G会社様		G会社様負担。 メーカーおよび機器の指定なし。
7	UDS基本申請 ・プライベートクラウド(OpenStack、開発BXO等) ・NTTデータ管理外NW	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。 お客様拠点と接続する情報を追加。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
8	UDS：ネットワーク接続サービス申請 ・UDSに接続するプロジェクト側拠点情報 ・NTTデータビル ラック利用サービス ・NTTデータ管理外NW接続サービス、FW登録ポリシー 等	G会社 PJ担当者	ITM	個別調整	プロジェクト側拠点情報等を記載し、UDSに接続可能とする申請。 UDSに接続するプロジェクト側拠点情報（ビル名等）を追加。ラック利用サービスの利用有無及び管理外NW接続サービス情報を追加。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
9	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	UDSからhttp/httpsで特定の社外ネットワークに接続可能とする申請。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
10	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
11	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2台目以降は同日中に払い出されることあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。

2. 代表的な接続事例⑤オフィス環境 - OpenStack- AWSセルフサービス版

- ・ オフィス環境からパブリッククラウド接続サービスAWSセルフサービス版にアクセスする事例です。



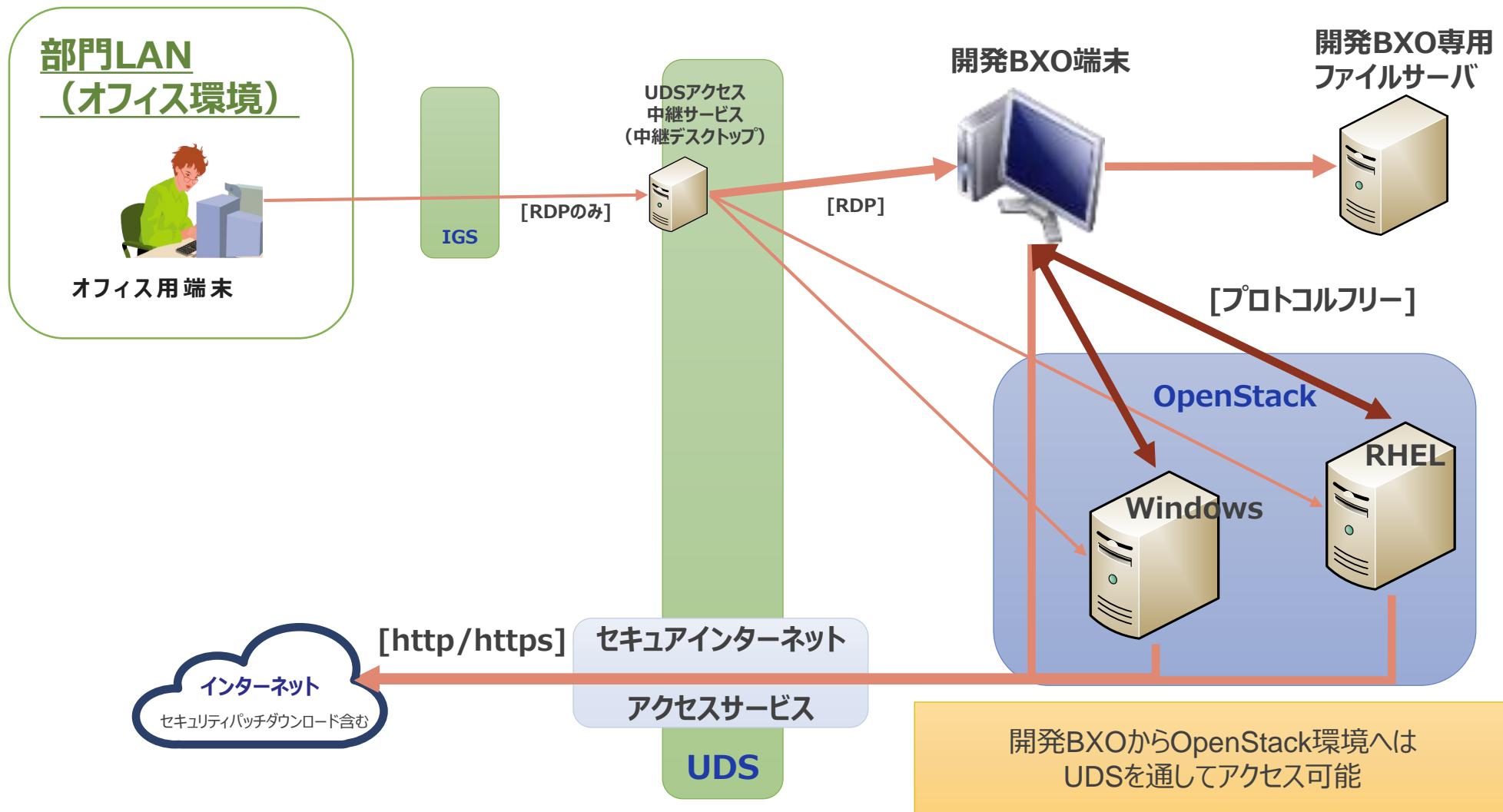
2. 代表的な接続事例⑤オフィス環境 - OpenStack- AWSセルフサービス版

・実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1-4	省略				p6スライド参照
5	UDS基本申請 ・プライベートクラウド(OpenStack、開発BXO等) ・パブリッククラウド(AWS、Azure等)	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。 パブリッククラウドと接続する情報を追加。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
6	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1 時間程度	UDSからhttp/httpsで特定の社外ネットワークに接続可能とする申請。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
7	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
8	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2 台目以降は同日中に払い出されることあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
9	AWS環境接続用のWindowsサーバ作成	G会社 PJ担当者	G会社 PJ担当者	1	OpenStackダッシュボード（Horizon）でAWS環境接続用のWindowsサーバ（4コア、8GBメモリ、60GBボリュームを推奨）を作成。
10	AWS(セルフサービス版)申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	16	AWS(セルフサービス版)を払い出す申請。 個別プロトコル利用サービス含む。

2. 代表的な接続事例⑥オフィス環境 - 開発BXO

- オフィス環境から開発BXOとOpenStackにアクセスする事例です。



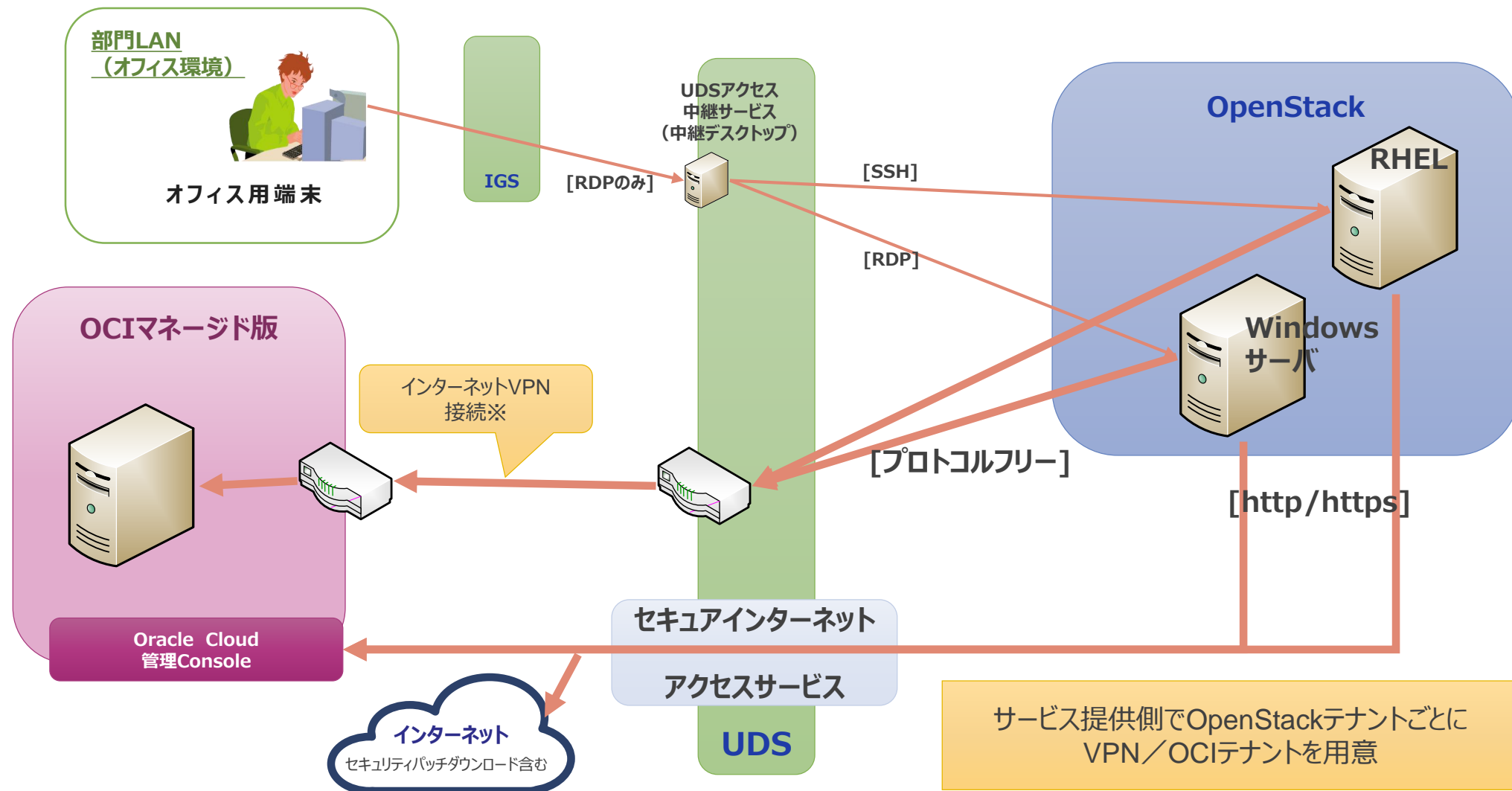
2. 代表的な接続事例⑥オフィス環境 - 開発BXO

- 実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1-4	省略				p6スライド参照
5	UDS基本申請 ・プライベートクラウド(OpenStack、開発BXO等)	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
6	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	UDSからhttp/httpsで特定の社外ネットワークに接続可能とする申請。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
7	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
8	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2台目以降は同日中に払い出されることあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
9	開発BXOの利用申し込み	G会社 PJ担当者	デジタルビジネスソリューション事業部		開発BXOを利用するための契約および申請。開発BXO専用のファイルサーバも申し込み可能。

2. 代表的な接続事例⑦オフィス環境 - OCIマネージド版

- ・ オフィス環境からOCIマネージド版にアクセスする事例です。



2. 代表的な接続事例⑦オフィス環境 - OCIマネージド版

・実現に必要な対応は以下のとおりです。

実施 順番	申請や対応名	実施者	主管担当	リードタイム (営業日)	内容説明
1-4	省略				p6スライド参照
5	UDS基本申請 ・プライベートクラウド(OpenStack、開発BXO等) ・パブリッククラウド(AWS、Azure等)	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	統合開発セキュリティ基盤（UDS）を新規作成しグループ共用セキュリティ基盤（IGS）と接続。 パブリッククラウドと接続する情報を追加。 申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
6	UDS：セキュアインターネットアクセス申請	G会社 PJ担当者	ITM	1時間程度	UDSからhttp/httpsで特定の社外ネットワークに接続可能とする申請。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
7	OpenStackテナント申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用	5	OpenStackテナントを払い出す申請。有償でメモリ数等を増加可能。
8	UDSアクセス中継サービス申請	G会社 PJ担当者	ITM	5	中継デスクトップを払い出す申請。同じIPアドレスレンジの2台目以降は同日中に払い出されることあり。申請方法は「 UDS電子申請クイックスタートマニュアル(グループ会社版) 」参照。
9	OCI接続用のWindowsサーバ作成	G会社 PJ担当者	G会社 PJ担当者	1	OpenStackダッシュボード（Horizon）でOCI接続用のVMを作成。
10	OCIマネージド版利用申請書の申請	G会社 PJ担当者	統合開発クラウド運用		OCIマネージド版を利用するための申請。
11	OCI利用契約	G会社 PJ担当者	NTTデータ先端技術社		OCIの利用契約締結。

参考資料

3. 参考資料①サービス詳細

本資料で説明しましたサービスの詳細につきましては、下記ドキュメントをご参照願います。

- ・ 統合開発セキュリティ基盤アクセス中継サービス利用マニュアル（グループ会社版）
https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/01_manual/10_manual_ars_group.pdf
- ・ ネットワーク接続マニュアル（グループ会社版）
https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/01_manual/01_manual_network_group.pdf
- ・ 統合開発セキュリティ基盤サービス仕様書（グループ会社版）
https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/servicecatalog_group.pdf
- ・ 統合開発クラウド マニュアル OpenStack 編
https://udc-portal.x-network.jp/common/doc/udc_manual_openstack.pdf
- ・ 統合開発クラウド マニュアル AWSセルフサービス版編
https://udc-portal.x-network.jp/common/doc/udc_manual_aws.pdf
- ・ NTTデータグループ会社向け開発BXOご説明資料
<https://udc-portal.x-network.jp/basic/doc/NTTデータグループ会社向け開発BXOご説明資料.pdf>
- ・ 統合開発クラウド マニュアル OCI編
https://udc-portal.x-network.jp/common/doc/udc_manual_oci.pdf

3. 参考資料②費用やリードタイム等

費用（利用料金）やリードタイム等につきましては、下記ドキュメントをご参照願います。

- ・統合開発クラウド 各種サービスの利用料金

<https://udc-portal.x-network.jp/basic/charge.html>

- ・開発セキュリティ基盤(UDS)のリードタイム

<https://uds-portal.x-network.jp/uds/leadtime.asp>

- 【G会社向け】統合開発クラウド_スタートアップ （用語集あり）

<https://udc-portal.x-network.jp/basic/doc/【G会社向け】統合開発クラウド スタートアップ.pdf>

